

**製品名: ASK1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab01327**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 155 kDa; Observed MW: 155 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP3K5 MAP3K5; ASK1; MAPKKK5; MEK5; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 5;
別名	Apoptosis signal-regulating kinase 1; ASK-1; MAPK/ERK kinase kinase 5; MEK kinase 5; MEKK5
遺伝子 ID	4217
SwissProt ID	Q99683
免疫原	ヒト ASK1 の合成ペプチド

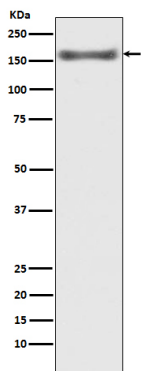
## 背景

マイトジェン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) シグナル伝達カスケードには、MAPK (細胞外シグナル調節キナーゼ) (ERK)、MAPK キナーゼ (MKK または MEK)、MAPK キナーゼキナーゼ (MAPKKK または MEKK) が含まれます。MAPKK キナーゼ/MEKK は、下流のプロテインキナーゼである MAPK キナーゼ/MEK をリン酸化して活性化し、MAPK を活性化します。

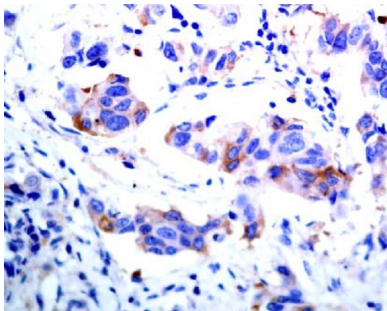
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



ASK1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の ASK1 のウェスタンブロット分析。



ASK1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。